初等教育学専攻　子ども発達専修

コア・カリキュラム構成の設定と学習内容・行動目標

育成する人物像
確かな子ども観・保育観を持ち、幼児遊びの創造を求め続ける保育者

教育目標
知と省察力を基に自らの人間性を磨き、学びと研究によって保育や幼児教育への専門性を高め続けていく人材を育成する

入学前の学習支援プログラム
基礎的知識の復習とものの見方・考え方を深め、表現力を高める等、入学後に備え学習支援していきます。
その内容は教育入門講座と自分の興味・関心や得意・不得意に合わせて国語、社会、数学、理科、情報の基礎講座5科目から選択で、課題学習を行い、添削指導によって、専攻への意識作りと入学後の円滑学習に繋ぎます。

■コア・カリキュラムとそれを構成する科目

教育保育理論の体系的な習得

小学校教育を見通し、幼児教育・保育者としての役割などの理解
人間の成長発達と保育・教育
その基礎理論の理解

科目：保育者論　保育原理

ミュージカル上演活動
幼児期の成長発達に資する演目の選択と表現力の高揚を求めて

教育の方法・技術の習得

乳児から幼児へと発達を促す保育方法の理解と発達を支援する技術の習得
保育所保育指針・幼稚園教育要領の理解

科目：保育課程論　保育方法

仲間と共に生きる力を培っていく幼児期教育を創造する保育者の育成

幼稚園教育実習、保育実習
0歳児から6歳児へとその発達を子どもとの関わりを通して体感的に学び取ります

各種施設での意図的体験の蓄積

観察・参加実習から創造実習へと進む現場学習、保育所、児童福祉施設、幼稚園と多様な現場実習を重ね、幼児理解を深め、対応力を高める

科目：保育実習　幼稚園教育実習

保育内容（身体）
運動遊びの工夫と表現方法の追求により、常に創造保育を求めていきます

めざすキャリア：幼稚園教諭一種免許状、保育士、小学校教諭一種免許状

■コア・カリキュラムについて

0歳から6歳の人間としての土台を培う時期の保育者教育者としての資質を養うべく成長発達過程を学び、豊かな心を育む保育に使命感をもって関わることのできる保育者の養成をめざし、理論と実践を往還させながらの学習を行います。

特に、豊かな心の基となる表現力を育むために、保育者としての重厚な表現力を求め高める活動を、保育内容（身体・音楽・言葉・造形）の授業の関連化を図りながら、ミュージカル活動に発展させていきます。

■コア・カリキュラムと指導目標・評価について

授業科目：保育内容総論

開講学年：1年後期

学習内容：

①保育内容の理念の成立と変遷を理解し、5領域を統合的に捉えることを学ぶ

②子どもの発達と保育現場における生活や遊びが密接に関連していることを理解する

評価項目：Ⅰ自己評価・グループ評価
Ⅱ教員による評価

■履修前後の学習内容評価の達成状況

授業科目：保育内容総論
開講学年：1年後期
達成レベル：①保育内容の変遷が説明できる
②子どもの遊びと保育内容の5領域の関連性が説明できる
③5領域の説明ができる
④人に分かりやすい言葉で説明できる
評価項目：
a保育内容の歴史的変遷が分かる
b幼稚園教育要領及び保育所保育指針の保育内容の「ねらい」「内容」が分かる
c子どもの生活・遊びと保育内容5領域の関連が分かり、事例を通して具体的にできる